

第1回 天王寺動物園 101 計画アクションプラン評価会議 会議要旨

■開催日時：令和2年2月6日（木）13：00～15：30

■開催場所：天王寺動物園 レクチャールーム

■出席者：

（委員）落合委員、坂本委員、佐々木委員、高瀬委員、西田委員
※黒岩委員は、所用のため欠席

（大阪市）牧天王寺動物園長、横山管理課長、今西飼育担当課長、休井動物園改革担当課長、ほか4名

【議題】

- ① 評価会議の趣旨説明及び進め方について
資料1、2をもとに事務局より説明を行った
- ② 座長の選出
委員の互選により高瀬委員を座長として選出した
- ③ 天王寺動物園の概要及び101計画について
資料3、4をもとに事務局より説明を行った
- ④ アクションプランの取組結果にかかる点検及び評価について（テーマ①～⑥）
資料5をもとに事務局より説明の上、委員から意見等の聴取を行った

【委員からの意見】

意見等の概要は以下のとおり

テーマ①（動物の導入と繁殖）

- ・人気動物や希少動物でなくても、飼育している動物の繁殖はやらないといけないことなので、人気・希少にかかわらず取り組みを行う必要がある。

テーマ②（展示・教育）

- ・ふれあい体験を通じて学ぶことはたくさんあり、教育効果の高いプログラムといえるが、動物の負担（動物福祉）も考える必要がある。
- ・イベント（教育普及イベントを含む）を急速に拡大しているという印象がある。あまり広げると職員が疲弊してしまっていて、安全の観点から問題が生じることが懸念されるので、ちょっと立ち止まって全体の仕事のバランスの中で、どれくらいできるのかを考えた方がよい。

テーマ③（飼育技術力の向上）

- ・昨年発生した動物事故を踏まえて、どういう形で動物園を変化させていくのかが重要であり、今後、適切な対応とプランの練り直しを進めてもらいたい。
- ・事故防止については、リスクマネジメントという観点から別項目を立ててはどうか。

テーマ④（イベントの実施）

- ・イベントの企画数は多ければいいというものではなく、達成目標にイベント数だけを入れるのはよくない。
- ・動物園には、ある程度限られたタイプのお客さんが来るが、そこからもう一步、今来られていないお客さんに興味を持ってもらうための努力が必要である。
- ・ナイトズーは、定例化できたが入園者数は減少しているので、原因を分析したうえで、次のステップを検討する必要がある。
- ・入園者数が多ければ良いというわけではなく、目的と適正な入園者数を考えるべき。

テーマ⑤（広報・プロモーション）

- ・ウェブなどを利用した情報発信はかなり有効であり、それも現場の人間が情報発信する方が価値ある情報を発信できる。
- ・情報の第一ステップがポスターとかチラシになっていることが多いので、アナログ的な広報媒体もまだまだ大事である。

テーマ⑥（サービス改善）

- ・今はウェブチケットに切り替わっており、逆にコンビニ販売をやめている事例がある。
- ・これだけの数の項目を達成したことは素晴らしいと思うが、スタッフの仕事は大変だと思うので、業務体制の改革を一緒にやる必要がある。
- ・数年前までは、飲食・物販が非常に見劣りするレベルであったが、仕組みを変えて民間の事業者（てんしば、イーナ）を入れたことで良くなったが、これは市全体として取り組んだ一つの成果であると思う。